



学校だより

平成29年1月31日
四日市市立小山田小学校

授業参観（1月28日土曜授業）

1月28日の土曜授業では、1限目に今年度最後の授業参観を行いました。保護者や地域の関係者の皆さんに多数ご参加いただき、ありがとうございました。

低学年では、子どもたちが参観者に参加を求め、自分たちで作ったお店やゲームコーナーで楽しんで活動しました。中学年では、道徳や国語の時間にグループで話し合ったり、取り組んだりしたことを工夫して発表しました。高学年では、楽しみながら英語学習に取り組んだり、差別に立ち向かい水平社運動を起こした人々の思いについて真剣に考えたりしました。

1年間の子どもの成長ぶり、学校教育の成果や課題について、どのようにお感じになられたでしょうか？これからも子どもたちのがんばり、本校の教育活動に対してご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



親子DE人権『子どもが主役！大人は名脇役！』山上敏樹さん

授業参観後に、5・6年生と保護者、地域の方の参加のもと、体育館でPTA行事『親子DE人権』を行いました。内容は、多度町の廃校を借り受けて能動体験型子ども育成塾を開校された、NPO法人子どもアイデア楽工（がっこう）理事長の山上敏樹さんによる講演『子どもが主役！大人は名脇役！』です。

山上さんは、鈴鹿サーキットのアトラクションデザイナーとしての経験や、現在のアイデア楽工の子どもとの関わりを通して実感された、子育てや教育にとって大切なことをユーモアたっぷりに語られました。

- 教えるのではなく、子どもの内にあるものを引き出す！
- WHY（なぜ？）でなく、HOW（どうする？）と聞く！
- ミスを責めるのではなく、隠れた長所を探す！ などなど

5・6年生は、ときどきインタビューを受けたり、アイデア楽工の子どもたちの作品に触れたりしながら、山上さんの話を真剣に聞いていました。



このロボットアームは身の回りにある材料で作ったんだよ！



第3回 学校づくり協力者会議

今年度3回目（最終）の学校づくり協力者会議を28日（土）に開催しました。学校教育や子どもの姿を振り返り、次のようなご意見をいただきました。

- 小山田っ子は、真面目で心優しい児童が多い。
 - 授業や掃除に取り組む姿勢がよく、集団登下校やなかよしタイムなど縦のつながりが良好である。よい伝統が育っていることがうれしい。
 - 本や絵本の読み聞かせを真剣に喜んで聴いてくれて、とてもうれしい。
 - 知らない人に挨拶することが難しい時代ではあるが、畑仕事をする人に元気に声をかける子どもがいて、地域の人がうれしい気持ちになった。
 - 昔からの課題だが、自己肯定感の低い子や積極的な行動が苦手な子がいる。家庭で大人が何でもやってしまうことが影響しているのかも…。
 - トイレのスリッパが散らかっていた。次に使う人のことを考えさせたい。
- 委員の皆さん、熱心なご討議ありがとうございました。



なかよしタイム（1月27日）

20分休みを利用して、1～6年生のたてわり班で遊びました。ドッジボールやだるまさんが轆轤だ、水鬼などで盛り上がりました。

～お知らせ～

小山田人権コンサート 2月4日（土）

主催：小山田地区人権・同和教育推進協議会
 場所：小山田びあホール（入場無料）
 内容：13:30～人権標語コンクール表彰式（本校児童も）
 13:45～西陵中学校音楽部演奏
 14:00～森やよいコンサート

※ 人権の大切さにふれるひととき。ぜひご参加を！

6年生を送る会 2月25日（土）

卒業を控えた6年生に感謝の気持ちをこめて、1～5年生が出し物を発表します。6年生の発表もあります。

見学を希望される方は、以下の点をご了承ください。

- 全校児童の発表のため、見学場所は体育館入り口付近に限ります。保護者用座席はご用意できません。
- 児童の発表は、最後まで静かに応援してください。私語は控え、携帯電話などの電源はお切りください。

おはよう！ またあした！ あやまだっ子通信



小山田小学校長

あっていいちがい？ いけないちがい？

～人権「児童集会」(1月25日)～

1月25日(水)5限目の児童集会は、小山田っ子のよさがよく表れた集会でした。内容は、6年生が学級や人権フォーラムで取り組んだ「あっていいちがい、いけないちがい」について全校で考えた後に、絵本『どんなかんじかなあ』(作:中山千夏)を代表委員さんが読み聞かせて、読み手の感想を発表するものでした。

「あっていいちがい、～」では、「伊藤さんはバナナが好きだけど、田中さんはりんごが好きだ」「たかしさんは、黒いランドセルだが、だいすけさんは赤いランドセルだ」などのお題が出され、あってもいいちがいと思ったら白ぼうしを、いけないと思ったら赤ぼうしをかぶるルールで進めました。それぞれのお題について、後で代表委員さんが自分の考えを発表しました。

読み聞かせでは、代表委員さんが練習の成果を発揮して、スクリーンの挿絵に合わせて、ゆっくりと心をこめて発表しました。聞く側の子どもたちも静かに真剣に聞き入っていました。感想にあったように、障害のある、なしに関わらず、相手の立場に立って物事を考えることの大切さに気づくことができました。

立派な発表をしてくれた代表委員の皆さん、本当にありがとう。



その洗い方でだいじょうぶ？

～1年生 栄養士による「手洗い指導」～



1月26日(木)、27日(金)に、1年生が「手洗い」について栄養士の小林先生から指導を受けました。どんなとき、何のために手洗いをするのか考えた後に、手洗いに行きました。そして、専用ローションを手塗って、箱の中でその手をブラックライトにあてました。

すると、しっかり洗ったはずなのに、洗い残しの部分が青白く輝きました。「えっ!?こんなにバイキンが残ってるの?」子どもたちは、絵に表しながらビックリしていました。

最後に、小林先生から正しい手の洗い方を教えていただきました。これからはしっかり手を洗いましょう。



インターンシップ～四日市農芸高校の生徒の皆さん～

1月25日(水)～27日(金)の3日間、四日市農芸高校の生徒3人がインターンシップで本校の給食室の仕事を体験しました。調理員から話を聞いたり、給食室でお手伝いをしたり、1・2年生と一緒に給食時間を楽しく過ごしたりしました。

3人は、働くことのたいへんさ、そして喜び・やりがいを感じたようです。

- 調理に関わる皆さんは、衛生面にとっても気をつけていました。水仕事を繰り返しながらも手荒れには十分注意していました。自覚が必要だと感じました。
- たくさんの量の野菜を洗ったり、切ったり、それだけで大変だけど、洗う人は次に切る人のことを考えて向きや長さをそろえるなど思いやりがありました。
- 手は2回洗ってから作業を始めることや、下に落ちてしまったものを拾ったときはもう一度手を洗うことに驚きました。
- 手を洗う大切さを子どもたちが真剣に聞いているのを見て、ほほえましく、温かい気持ちになりました。本当にすてきな授業だと思いました。

～3人の「インターンシップ日誌」より抜粋～



【2月の小山田小「定時退校日」について】 **2月1日(水)**です。

勤務時間外(16:55以降)のお問合せなどについては、できるかぎり別日をお願いします